

底びき調査の新規定点における魚種組成の特徴

福島県水産海洋研究センター 海洋漁業部

1 部門名

水産業－資源管理－底びき網

2 担当者名

白土遼輝・寺本航

3 要旨

主要底魚類資源状況の把握のため、2014年から調査指導船いわき丸による底びき網調査を実施してきた。今回、震災前にアカムツの主漁場であり、震災後に未利用漁場となって以降の状況を把握するため、塩屋埼沖に新規定点 S135(図1)を追加し、魚種組成の特徴を把握し他定点と比較した。結果、アカムツの他、主要魚種数種で他の定点より密度が高い特徴がみられた。

- (1) 2024年9～12月まで塩屋埼沖の調査定点(4定点)で毎月1回調査を実施し、採集された魚介類の測定結果を用い、各地点の個体数密度及び階級^{※1}別個体数密度を推定した。
- (2) 2024年9～12月の調査において、S135では53種3,382個体923.7kgが採集された。
- (3) 主要魚種において、S135では他定点と比べ、カナガシラ、マアジ、スルメイカ、ヤナギムシガレイ、アカムツの密度が高かった(表1)。
- (4) S135では他定点と比べ、カナガシラ、アカムツの小型個体の密度が高く当歳魚の資源加入が窺えた。また、スルメイカ、ムシガレイは成魚の密度が高く、生息範囲が沖から灘に近い範囲に拡大しているものと考えられた(図2)。

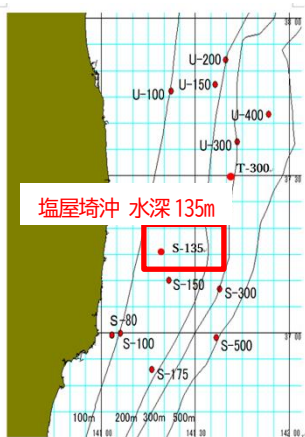


図1 調査定点図

表1 定点別個体数密度(塩屋埼沖)

種名	単位：尾/km			
	S-80	S135	S-150	S-175
1 シャチブリ	0.0	6.3	0.0	0.0
2 カナガシラ	1.4	4.9	3.7	2.4
3 マアジ	2.8	2.4	3.2	0.1
4 ヤリイカ	2.2	2.2	3.6	1.4
5 スミクイウオ	0.0	1.4	0.2	0.3
6 ニギス	0.0	1.2	0.0	1.1
7 ヤナギムシガレイ	0.0	0.8	0.1	0.1
8 スルメイカ	0.0	0.4	0.1	0.3
9 サギフエ	0.0	0.4	0.2	0.1
10 ムシガレイ	0.1	0.4	0.5	0.3
11 キアンコウ	0.0	0.2	0.1	0.0
12 アカムツ	0.0	0.2	0.0	0.0
13 ミシガレイ	0.0	0.2	0.3	0.7
14 エゾイソアイナメ	0.0	0.1	0.0	0.0
15 コウイカ科	0.3	0.1	0.0	0.0

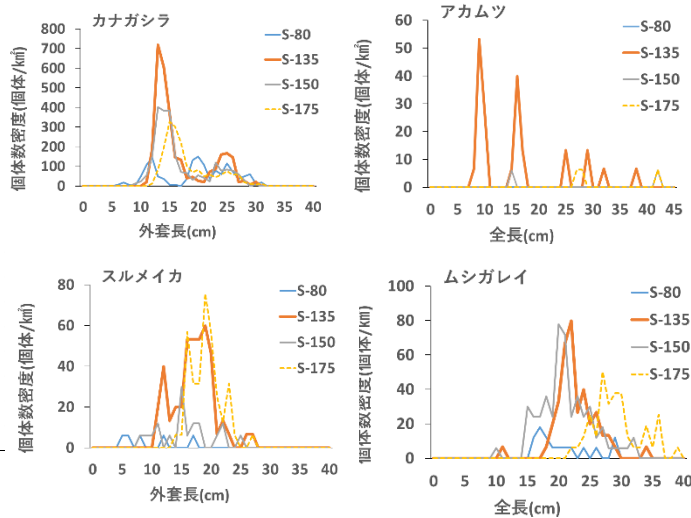


図2 定点ごとの階級^{※1}別個体数密度

※1 階級：全長、外套長

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3年度～令和7年度
- (2) 研究課題名 カレイ類資源管理手法の開発

5 主な参考文献・資料

- (1) なし